

中部方面混成団



式辞を述べる混成団長兼ねて駐屯地司令武政1佐

平成二十六年五月十日(土) 中部方面混成団及び大津駐屯地は、県知事、大津市長、国会議員をはじめ、多数の来賓のご臨席のもと、団創立七周年、駐屯地創設五十五周年記念行事を盛大に開催した。

今年の記念行事は晴天に恵まれ、過去最高の来場者で賑わった。観閲式は、中部方面混成団副団長(田邊一佐)を観閲部隊指揮官として、団隷下部隊、中部方面音楽隊(伊丹)が参列、観閲行進では、中部方面音楽隊が演奏する中、第一〇九教育大隊の新隊員、第四陸曹教育隊に入校中の学生、第四十七、第四十九普通科連隊に加え、各地から集結した支援部隊の車両が多数の来場者の前を威風堂々と行進し、大きな喝采を浴びた。

式典後は、迫力ある模擬戦、本行事では初となるラップ演奏、大津駐屯地名物の新隊員による自衛隊体操が行われ、見学者を圧倒・魅了し、盛況のうちに、記念式典を終了した。

中部方面混成団創立七周年
大津駐屯地創設五十五周年
記念行事盛大に開催

入場者数
4,500人



MACB
QRコード
編集・発刊

中部方面混成団
本部広報室
Tel.077-523-0034



祝辞を述べる大津市長



威風堂々と行進する新隊員



大迫力のFH70の空包



ラップ演奏



大人気の戦車試乗



新隊員全員による自衛隊体操

記念行事の様子

感謝状受賞者

混成団長感謝状

- | | | | | |
|-----------------------------|----------------------------|-------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 第一〇教育大隊
教友会会員
徳田 三郎 様 | 第一〇教育大隊
教友会会員
森岡 崇 様 | 第一〇教育大隊
教友会特別会員
塩田 英資 様 | 第四陸曹教育隊
友の会理事
新見 泰朗 様 | 中部方面混成団
友の会理事
星野 晃二 様 |
|-----------------------------|----------------------------|-------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|

ご支援、ご協力
ありがとうございました。

大津駐屯地業務隊OB会
幹事 岩田 敏文 様

大津駐屯地業務隊OB会
幹事 鈴木 晃太郎 様

大津自衛隊協力会
理事 木村 義弘 様

駐屯地司令感謝状

第四十七普通科連隊

第一線救護訓練

連隊は、六月九日、海田市駐屯地において、まず衛生小隊が救急法に関する知識・技能の概要について教育し、じ後、第一中隊が負傷者等発生に伴う小隊長等の状況判断について展示説明した。

展示では接敵行進や陣地攻撃などの各種状況において負傷者等が発生した場合に「与えられた任務と節調を図りながら、いかに救護するか。」の事例を提示して理解の促進を図り、じ後の訓練の資とした。



首頸椎保護要領の展示



射撃による援護下の救護



教材を利用したリアルな展示

連隊情報管理検査

情報流出防止に万全を期す！

連隊は、六月二日から九日までの間、海田市駐屯地及び善通寺駐屯地において、情報管理検査を実施し、各中隊の業務が概ね適正に遂行されているのを確認した。

指導事項については速やかに是正改善し、第3四半期に混成団が計画する情報管理検査受検を目標に、引き続き情報流出の未然防止を図る。



駐屯地内10キロの徒步行進



職場生活体験支援

連隊は、五月二十日から二十日までの間、企業五社と海田町役場の新規採用職員計四十七名に対する隊内生活体験支援を担当した。

生活体験参加者は、基本教練、天幕設営、救急法、担架搬送などのほか、重さ約二十キロの荷物を交代で背負って約十キロの徒步行進などを体験した。

全ての訓練を終えた生活体験参加者は、「自衛隊の団体行動を通じて、お互いのことを考え助け合う良い体験ができました」と、笑顔で語っていた。

離隊時は、連隊の全隊員に見送られ自信に満ちた晴れがまし様子で駐屯地を後にした。



パソコン検査

第二次即応予備自衛官招集訓練



個人携帯対戦車弾縮射弾射撃



120ミリ迫撃砲練成射撃



徒歩行進訓練



81ミリ迫撃砲縮射弾射撃

各種練成射撃等を実施

連隊は、六月六日から二十九日までの間、各出頭訓練地において第二次即応予備自衛官招集訓練を実施した。

各中隊は七月に予定している連隊射撃野営に向けて各種火器の練成射撃を実施した。

六月二十五日には、七月中旬に実射検閲を受閲する重迫撃砲中隊が、東富士演習場において一二〇ミリ迫撃砲の練成射撃（夜間射撃含む）を行った。

第一次即応予備自衛官招集訓練

連隊は、四月十七日から二十七日までの間、各出頭訓練地において平成二十六年一度第一次即応予備自衛官招集訓練を実施した。

各出頭訓練地（金沢、豊川、久居、大久保、信太山、伊丹）では招集訓練開始に伴い連隊長訓示を行い、「仕事は楽しくやりたい。楽しくやるためには、やらされて嫌々やるのではなく、自らの意思で能動的に仕事に励み、組織として皆が楽しくやれる環境を互いに築くことが大切である。」とし、「お互いに、能動的に、為すべきことを為しましょう。」と改めて要望するとともに、昨今の国内外情勢、国民の自衛隊に対する期待、この年度の改編に至った経緯などを踏まえ、今年度の連隊隊務運営方針を示した。

第四十九普通科連隊



招集訓練開始に伴い連隊の隊務運営方針を示す連隊長

中部方面混成団創立7周年記念行事

大津で連隊の勇姿を初披露

連隊は、五月十日（土）、大津駐屯地において行われた、中部方面混成団創立七周年・大津駐屯地創設五十五周年記念行事に参列した。

観閲式では連隊長以下一八名の隊員が参列したほか、訓練展示（模擬戦闘）を担任、約四五〇〇名の来場者に連隊の勇姿を初披露した。



観閲式



観閲行進



らっぱ吹奏



訓練展示



訓練展示



訓練展示



隊内巡視



団長訓示受け



物品管理検査



情報管理検査

混成団長初度視察

連隊は、豊川駐屯地において五月二十六日から二十九日までの間、中部方面混成団総合隊務視察を受察した。

視察は、隊務全般について行われ、情報管理検査、物品管理検査及び補給整備検査を併せて受検した。

この間、混成団長による初度視察を受察し、連隊の現況を確認するとともに、団長訓示では、「『我ら混成団』『我ら49連隊』の指標の下、連隊長を核心として、部隊一丸となつて任務を完遂できる精強な普通科連隊を目標として、引き続き精励せよ」と連隊隊員を鼓舞した。

第四陸曹教育隊



創隊六十周年記念式典



友の会との合同での人文字



記念式典

第四陸曹教育隊（隊長 谷 俊彦一佐）は平成二十六年六月二十一日、創隊六十周年記念行事を行った。

六十周年という節目の年となる今回、毎年実施している式典のほか、基幹隊員及び四曹教友の会の皆様との人文字の撮影、部隊史紹介としての第四陸曹教育隊六十年間の歴史の紹介を駐屯地で行った。その後は琵琶湖湖上で、琵琶湖汽船の観光船「ピアンカ」をチャーターしての記念懇親会を行った。記念懇親会には、基幹隊員の家族も含めて百七十四名が参加し、豪華なランチバイキングやビンゴゲームで、家族サービスを楽しむ隊員の姿や、部隊紹介での懐かしい写真の思い出話に花を咲かせているOBの姿もあり、家族間相互の交流や、部外協力者との意見交換等を行うなど、信頼感の醸成を図った。



ピアンカでの記念懇親会

強制わいせつ事件被疑者逮捕に協力



大津警察署長から感謝状の受賞



大津警察署長、副署長との記念撮影

平成二十六年四月二十五日、第二期生徒陸曹候補生課程（前期）を履修中の小林候補生（左）・片岡候補生（右）に大津警察署から感謝状が贈られた。

両隊員は、外出からの帰隊途中に大津市内において、男性が全速力で走っている後を店員が追いかけている様子を確認し男性を追跡、追いかけていた店員によると、男性は強制わいせつ行為をして逃走中であると知らされ、店員と協力して逃げ込んだパチンコ店を捜索したところ、男性を発見した。その男性は、裏口から逃走したが、追跡して男性を取り押さえ警察に身柄を引き渡した。

大津警察署で行われた感謝状贈呈式で、岡根孝明署長は、「強制わいせつ事件被疑者逮捕の協力で感謝いたします。」と二名の隊員を称えた。

陸曹教育隊に入校して

小林 怜央



私は、陸曹教育隊は、自衛隊の原点だと聞いていました。高等工科学校での生徒教育で「一つ一つの動作をしっかりと覚えて今後役立つ」「体を鍛える」など言われながら、我武者羅に三年間を過ごしました。そして、陸曹教育隊に入校をして気付いたことは、高等工科学校での生徒教育は、「受け身」であったということです。とりあえずは指示を待ち、示された事だけをやって来たと思います。しかし、陸曹教育隊に入校をして直ぐに、受け身でなく自主積極的に動けるようになりました。それは、生徒の頃から何事も皆で助け合うことが大事だと分かっていたのですが、陸曹教育隊に入校してより同期の大切さが分ったからです。

立派な陸曹になるためには、今の事に全力で取り組んでいくのが一番の近道だとも思います。これからのいろいろな経験を重ねたいと思います。

第一〇九教育大隊



一般陸曹候補生 自衛官候補生

3ヶ月の軌跡

入隊時

やや緊張気味で着隊した新隊員達は、規則正しく慣れない集団生活にとまどう事もあったがほとんどの隊員がすぐに仲間と打ち解けることが出来、助け合い、夢と希望あふれる自衛隊生活がスタートした。

四月 (環境順応期)

入隊式を終え、いよいよ本格的な訓練が始まる。慌ただしい生活の中で自分の時間の作り方が上手くできるようになっていく。

五月 (練成期)

大津駐屯地記念行事では観閲行進や自衛隊体操を披露し、あいは野演習場では元気に25km行進訓練を完歩した。自衛官としての知識、技能、体力が向上し顔つきが逞しくなる。

六月 (完成期)

任地発表を数日後に控え訓練の集大成となる戦闘訓練練度判定に勇猛果敢に挑み最後の力を振り絞り攻撃目標を奪取した。



比叡山延暦寺史跡研修



静粛の武器授与式



美味しい食事に感謝



まずは敬礼から



これが最後の集大成！！



気迫の戦闘訓練！！



鍛錬の25km行進訓練



堂々の観閲行進

修了式

六月二十八日(土)、第七期一般陸曹候補生、自衛官候補生の修了式を実施した。三百九十八名の新隊員が多数の来賓や父兄の方々から自衛官らしく逞しくなった姿を披露した。その後、約千二百名が参加した観閲行進では記念会食終了後に、第三音楽隊(千僧駐屯地)による音楽演奏会などを行った。新隊員達は父兄とのひと時を過ごし、後期部隊へと旅立つ決意を新たにしました。



力強く答辞を述べる代表者佐野2士

それぞれの後期教育へ

七月一日(火)、大津駐屯地での思い出を胸に残し、基幹隊員に見送られそれぞれの後期教育部隊へ異状なく異動した。



同期は一生忘れません



たくさんの大津駐屯地の方々に見送られ

第一〇教育大隊



平成26年度
一般陸曹候補生修了式

第一〇教育大隊（第七期一般陸曹候補生二五七名）は、六月二十八日に第一五普通科連隊（自衛官候補生四七名）と合同の修了式を挙行した。
約三ヶ月の教育を修了した新隊員たちは、入隊した当初の初々しい姿から、厳しい訓練を通じ、日に焼けた精悍で逞しい姿に変わり、来賓並びに多くの父兄の方々に驚かせていた。
今後はそれぞれの職種・任地で一人前の自衛官になるべく、専門的な後期教育を受ける。



大隊長からの祝辞



それぞれの後期教育へ



精悍な姿に成長

新隊員3ヶ月の軌跡



不撓不屈の戦闘訓練



練成の成果は！？



責任の重さ！



よろしくお願いします。



香色山登山走競技会



25km行進



手取り足取り・・・



点検お願いします！

六月（完成期）
いよいよ教育も大詰めです。今までの成果を出せるように練度判定や競技会は一生懸命頑張りました。

五月（練成期）
毎日息をつく暇もなく忙しかったです。でも信頼する仲間と励ましあって沢山の困難を乗り越えました。

四月（環境順応期）
いよいよ訓練が始まり、毎日が新鮮でした。
分からないことは班長が親身になって教えてくれました。

入隊時
期待と不安が入り混じりながら着隊し、何をするのにも初めての経験でした。